

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																									
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内にて共有、実践している。	●		・経営理念は社内に掲示し、常にこの理念に基づき行動するよう共有、実践している。 ・経営目標について、経営者と従業員が同じ認識と目標を持ち、理想の会社づくりに一体となって行動できている。										8	9												17			
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守に対するマニュアル、規定を作成し、社内に規定を掲示させるとともに全社員に携行させている。 ・法改正等の変化に合わせ車台研修、勉強会を実施している。																							16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・コンプライアンスに抵触する行為は厳に慎むよう周知、徹底している。不正競争行為に関するセミナーを全社員受講し、不正競争行為に関与しない体制を整備している。												10											16			
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・役割分担表を作成し体制を整備している。 ・当社の活動の是非で、お客様にどのような影響が出るのか常に念頭に置いている。																							16			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・法令遵守はもちろんのこと研修、勉強会を実施している。										8.2	9												16			
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・特に個人情報を多く扱う業種であるので、個人データ管理台帳を作成し、定めたルール通りの運営を行っている。 ・漏洩事故が起こった際の対応マニュアルも作成している。																							16			
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・面談時やお電話などでいただいたお客様の声を、会議時に社内にて共有し記録に残している。 ・いただいた声をもとにさらなるサービスの向上に取り組んでいる。																					16	17				
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●								5					8		10				12	13	14	15	16	17				
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・大規模災害時のBCPマニュアルを作成し、全社員に周知している。 ・時勢をふまえて見直しを行っている。													9				11			13.1			16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●													8	9											17			
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●					1	2							8							12	13	14	15	16	17			
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内にて差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・就業規則にハラスメント防止規定を設け、明記している。 ・社員にも適宜会議や勉強会を通じて周知、徹底している。					4.3	5.1			8.5		10.2										16.1		16.2	16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・心の健康の維持のため、なんでも話せる、相談できる職場環境づくりを実施している。						3								8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。	●		・就業規則に賃金規定を明記。同一労働同一賃金の原則を守り策定している。												8.5												10.2	10.3	
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・有給休暇取得について、経営者側からの奨励を行い、家族行事などのプライベートな時間を優先させている。						3							8.5												10.3	
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・教育プログラムを作成し、社員の資格取得やスキルアップを支援している。								4	5.5					8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・管理者、従業員を含めた全員が平日頃からストレスをためない職場環境づくりと、体力維持、向上の呼びかけを行っている。 ・コロナワクチン接種休暇を設け、接種者は接種日に休暇をとる。また翌日以降も体調がすぐれない場合は、休暇もしくは在宅勤務をしてもらう対応をとった。															8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務や福利厚生など法人が行う全活動において差別的待遇はない。																									10.2	10.3
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビナー導入している。	●		・感染症対策規定を設け、明記している。 ・大人数での会議時はWEB会議で行っている。 ・お客様へもリモートでの面談を推奨、案内している。																	8	9.1							11	12
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・引受保険会社が提供するシステムを利用し、経営戦略から提案までをAIを活用し一元管理。紙ベースからの変革を行っている。 ・お客様との手続きや情報交換もオンライン化を進め業務効率化に取り組んでいる。																	8	9.1							11	12
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																												12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・社内での出るゴミは分別し、事務所周りの清掃を定期的に行うなどの活動をしている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いてエネルギー使用量を算出しており、事務所内の節電に取り組んでいる。 ・営業車にHV車を導入し、ガソリン削減に取り組んでいる。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いてエネルギー使用量を算出しており、営業車にHV車を導入、リモート面談、在宅勤務を推進するなどしてCO2排出削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・昼食の弁当箱推奨やマイバックの推奨など、プラスチックやレジ袋の使用削減に取り組んでいる。						6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・書類や封筒などは再生紙を使用するとともに、個人情報の乗らない廃棄書類の裏紙はメモ用紙として使用している。 ・FAXをPDFデータとして保存し不要な印刷物を削減している。									9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・水道に張り紙をする、蛇口にシャワータイプの節水器具を取り付けるなど可能な限りの節水に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.5					11.5				14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・自社とお客様にも、自動車事故の修理時にリサイクルパーツの使用を推奨、案内し環境と経済の両面で取り組んでいる。									9.4				12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7			13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5			14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			・営業車にHV車を使用するとともに、不要なアイドリングをなくすなど環境に配慮した営業を行っている。 ・今後導入する営業車も、HV車もしくはEV車を使用する。									9.4		11.2			13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・「お客様第一の業務運営方針」を作成し、内外へ周知している。 ・お客様の声を常に収集し、社内で共有することでサービスの質の向上に取り組んでいる。 ・引受保険会社とも情報を共有し、改善点あれば都度実施している。			3.9						9			12.4									
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・使用するパンフレット等は、提供元でユニバーサルデザインの認定を受けたものを使用している。 ・高齢者の方や障がい者の方への対応マニュアルを作成、運用。時勢に合わせて適宜改善を行っている。									9.1	10	11.7								17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7						12.2	13.1			15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・社員に対し、居住地域のボランティア活動などに積極的に参加するよう呼びかけている。 ・取引先からの活動支援依頼にも積極的に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・大規模災害用のBCPマニュアルを作成している。 ・お客様にも、保険代理店の使命として住む地域のハザードマップを案内、防災の啓蒙活動を行っている。				4							11.5		13.1				16				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・保険代理店という立場から、防災・減災に役立つ知識や情報をお客様に提供している。 ・事務所外側に防犯カメラを設置。地域の防犯取り組みに貢献している。	1.5			3	4						10.2	11.5		13.1				16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1							
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・第1期SDGs登録事業者認定取得後、名刺にSDGsロゴを入れ、お客様を含めた社外すべての方にSDGsの普及・啓発を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●						4					8.6		10.2								17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●						4.4					8.5 8.6										17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2			4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15			17	